

創業者の森本さん



取材に応じてくださったのは、創業者で代表取締役の森本隆さんです。ホームページを自分で制作・メンテナンスされているだけあって、ウェブページには一般消費者が喜ぶ工夫が満載です。

ポリテク京都レポート

## 地元企業はおもしろい

—こんな職場があるんです!— ⑦

ポリテクカレッジ京都 加藤 肇

### 株式会社DIY STYLE

喜多のDIY STYLE (<http://diystyle.jp/>)は、平成17年に設立されました。社名のDIYは「Do It Yourself (日曜大工などを自分でやる)」の略語です。当初は、DIYに用いる建材やインテリア用品、雑貨などを、自社で立ち上げたインターネットショップで販売していましたが、その後、顧客からの要望に応じて、オリジナル建材の商品開発を進めるようになりました。その成果は「舞鶴市リーディング産業急げ」への応募によって平成23年度は「貼るだけ簡単フローリング」、平成25年度には「NEW赤れんが(煉瓦)」が採択され、ヒット商品として販路も拡大しています。

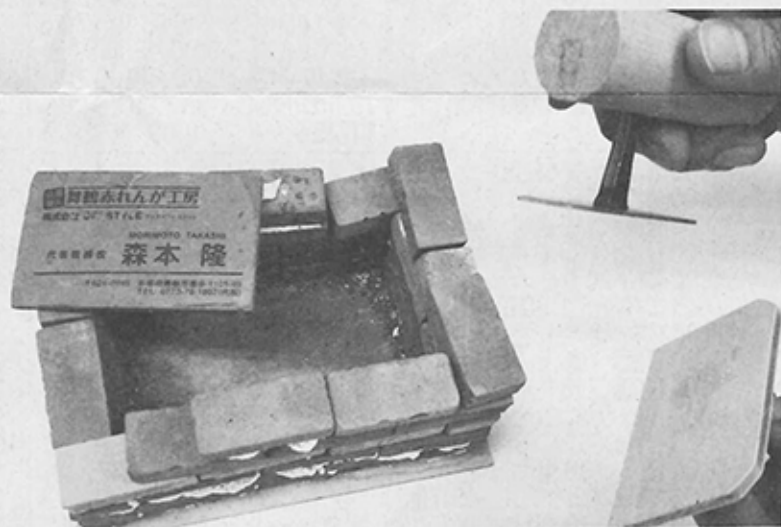
現在の主力商品は「貼るだけ簡単フローリング床デコ」と、その下に敷く防音・断熱下地材です。特に下地材の開発では、材料の配合を決めるため、膨大な回数の実験を繰り返されたとのこと。その実験の過程で生まれたのが「籠城シート」です。

しかし実はこれ、失敗作。防音材としての性能は目指す規定値に達しなかったのです。森本さんは舞鶴市出身で地元が大好きですが、以前から「舞鶴市は、加工も容易で、色も赤れんがの町」とも赤れんがの町とも赤れんがの普及が不可欠だ」と。開発した赤れんがは、量赤れんがなどの開発をきっかけに、舞鶴の

## ウェブも商品開発もDIY

「オモシロイことをやりたい人」。既製品にこだわらず、新しいものを生み出した人に来てほしいとのことでした。今、森本さんは次の新商品に着手しています。それは、各家庭の居間をコンサートホールに変えてしまう壁材の開発です。一見ふつふつの壁材ですが、その表面に特殊な加工を施して、ホルルの反響音や残響音を再現しようという試みです。これからも商品開発への熱意は衰えないでしょう。

取材先に  
感謝を込めて:



ミニ煉瓦組み立てキットと名刺

色あります。商品名を町を活性化したいという「QB」(クイックビルド)フリックの略とした。言い、商標登録済み、もついつ注目したのが「籠城シート」を防災用品として数々の展示会に出品していることとです。平成25年は「まいつる赤れんが地場産市場」(東京国際消防防災展「震災対策技術展(仙台)」)、平成26年には「海上自衛隊舞鶴地方総監部物品展示会」(震災対策技術展(横浜))と、これらは社会貢献に通じる取り組みです。